北方詩としての俳句

特別展

細谷源二と齋藤玄

2023.1月21日[土]～3月19日[日]

休館日：毎週月曜日　開館時間：9時30分～17時（入場は16時30分まで）

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、会期は変更となる場合があります。その際は、ホームページ等でお知らせします。

観覧料　一般500円（400円）、高大生250円（200円）、中学生以下・65歳以上無料

※（　）内は10名以上の団体料金
※中学生以下を引率する教員、学校の教育活動の一環として観覧する高校生等とその引率教員、
土曜日の高校生等、児童・老人福祉施設に入所している方とその引率者、
身体障害者手帳等をお持ちの方とその引率者、生活保護を受けている方は無料となります。
詳細は文学館までお問い合わせください。

主催：北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館（北海道立文学館指定管理者）、北海道新聞社
後援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道俳句協会
協力：俳人協会北海道支部、現代俳句協会（中・北・東・南北海道4地区協会）

中島公園 | 北海道立文学館 特別展示室

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4
TEL. 011-511-7655　http://www.h-bungaku.or.jp

特別展

細谷源二と齋藤玄

北方詩としての俳句

細谷源二色紙
地の涯に倖せありと来しが雪

齋藤玄色紙
蘇る水の稲妻枯尾花

昭和初頭の新興俳句運動にめざめ、戦時中の俳句弾圧の荒波をくぐりぬけ、北海道の戦後俳句界を力強く牽引した細谷源二と齋藤玄。「働く者の俳句」を標榜し花鳥諷詠とは異なる現代俳句を推進した源二と、幽玄の世界に深く分け入り伝統詩型の中に新局面を切り開いた玄。作風は対照的ながら、新興俳句の精神を戦後の北海道に根付かせ、「北方詩としての俳句」とも呼ぶべき世界を創り出すという共通点を持つ俳人でした。いまこの二人にあらためて光を当て、激動の昭和俳句が現在と未来に問いかける課題を浮き彫りにします。

細谷源二（ほそや・げんじ）
明治39（1906）年～昭和45（1970）年

齋藤玄（さいとう・げん）
大正3（1914）年～昭和55（1980）年

「氷原帯」通巻33号　昭和24年10月
氷原帯発行所「東圧俳句」改題
発行人・山田正之（緑光）

「京大俳句」第7巻第1号
昭和14年1月　京大俳句発行所　個人蔵

「壺」第2巻第3号　昭和16年3月
壺編輯部　北海道立図書館蔵

関連事業

◉講演会

「細谷源二と齋藤玄　北方詩としての俳句」

日時：令和5年1月22日（日）14:00～15:00
当館講堂
講師：五十嵐秀彦（俳句作家）
＊聴講無料　定員35名。要申込、
1月11日（水）9:00から電話で受け付けます。

◉鼎談

「細谷源二と齋藤玄が私たちに遺したもの」

日時：令和5年2月26日（日）14:00～15:30
当館講堂
講師：五十嵐秀彦（俳句作家）、鈴木牛後（俳句作家）、瀬戸優理子（俳句作家）
＊聴講無料　定員35名。要申込、
2月14日（火）9:00から電話で受け付けます。

◉講演会

「細谷源二著『俳句事件』―『俳句弾圧不忘の碑』からフランス語訳の出版まで」

日時：令和5年3月12日（日）14:00～15:00
当館講堂
講師：マブソン青眼（俳人）
＊聴講無料　定員35名。要申込、
2月28日（火）9:00から電話で受け付けます。

●常設展のご案内／北海道の文学（通年開催）

北の大地に育まれてきた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示
観覧料：一般500（400）円、高大生250（200）円、（　）内は10名以上の団体料金
65歳以上、中学生以下無料。高校生は土曜日無料。＊詳細はお問い合わせください。

＊常設展文学館アーカイブ「熊のいる風景」
1月14日（土）～3月19日（日）　常設展示室内　熊の魅力、人との関わりや悲劇などを文学をとおして紹介。

◉次回展覧会（予定）**ファミリー文学館「ネコ！ねこ！猫！！Ⅱ（ツー）」**
4月15日（土）～6月11日（日）　観覧無料　文学作品のなかに描かれている猫を紹介します。

ご来館のお客様へ　入館にあたってのお願い
◇発熱や体調不良などの症状のあるお客様はご来館をお控え下さい。◇館内入口にて検温を行います。37.5度以上の発熱が認められた場合、入館をお断りします。◇咳エチケット、ソーシャル・ディスタンスにご協力ください。◇マスクの着用をお願いします。

北海道立文学館
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4
●地下鉄南北線【中島公園駅（出口③）】または
【幌平橋駅（出口①）】から徒歩6分
●市電「中島公園通」から徒歩10分
●JRバス・中央バス「中島公園入口」から徒歩4分
【お問い合わせ】
TEL：011-511-7655
http://www.h-bungaku.or.jp

フェイスブック、ツイッターでも情報発信中！

施設設置者：北海道教育委員会
（教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課（代）011-231-4111）
指定管理者：公益財団法人北海道文学館